

2021 ユーススカイランニング世界選手権

YOUTH SKYRUNNING WORLD CHAMPS

報告書

2021.8.5

長野県スカイランニング協会

小林海仁・保倉敏樹



7/30～8/1 に行われた 2021 ユーススカイランニング世界選手権（以下 YSWC）へ参加してきました。今大会、事前の情報も少なく、不安やわからないことがある中、現地に行くこととなりました。来年以降の参加者のみんなへ、不安要素軽減のため、少しでも情報を共有できるように報告書を作成しました。

写真でも大会の様子をご覧ください↓↓

<https://photos.app.goo.gl/G1KGJFb18zk8EVB6>

【参加種目】

7/30 VK 3.6 km D+1000m

8/1 SKY 21.6km D±2260 m

(※稜線強風により大会当日コース変更→17.0 km D±1500m)

【結果】

VK

U23 (21-23 歳) 男子

1. Daniel Osanz (ESP) 36:36
2. Kasper Fosser (NOR) 36:49
3. Daniele Fontana (SUI) 39:27
- 12. Kaito Kobayashi (JPN) 43:46**
- 15. Toshiki Hokura (JPN) 44:22**
- 21. Kazuki Hattori (JPN) 45:20**

U23 (21-23 歳) 女子

1. Barbora Macurova (CZE) 47:21
2. Anna Guirado (ESP) 50:00
3. Martina Bilora (ITA) 52:10
- 7. Aya Wakabayashi (JPN) 56:35**
- 9. Akari Samata (JPN) 58:00**

SKY

U23 (21-23 歳) 男子

1. Kasper Fosser (NOR) 1h37'12"
2. Daniel Osanz (ESP) 1h39'41"
3. Jonas Soldini (SUI) 1h40'58"
- 18. Kobayashi Kaito (JPN) 1h52'19"**
- 24. Kazuki Hattori (JPN) 1h54'35"**
- 25. Toshiki Hokura (JPN) 1h54'40"**

U23 (21-23 歳) 女子

1. Barbora Macurová (CZE) 2h01'27"
2. Anna Guirado (ESP) 2h10'17"
3. Martina Bilora (ITA) 2h10'20"
- 8. Akari Samata (JPN) 2h23'25"**
- 10. Aya Wakabashi (JPN) 2h24'32"**

国別ランキング

1. スペイン
2. ノルウェー
3. イタリア
- 10. 日本**

【遠征スケジュール】

- 7/26 PCR検査陰性証明授受 (三田国際クリニック)
- 7/27 羽田発、イタリア・ローマ入り
- 7/28 大会会場・ラクイラ入り、PM コース試走
- 7/29 各自調整・コースチェック
- 7/30 AM 各自調整 PM 15:30 VK (15 秒ごとタイムスタート)
- 7/31 AM 各自調整 PM オープニングセレモニー、表彰式、PCR 検査
- 8/1 AM 8:00 SKY PM 表彰式、交流会
- 8/2 AM 観光、買い物 PM イタリア・ローマ発
- 8/3 羽田着、解散
- ~8/17 自宅隔離 (14 日間)

【コース紹介】

VK

3.6 kmで D+1000mUp のコースで、3 セクションに分けることができます。ロープウェイの下を通るコースなので、支柱を目印に走ります。

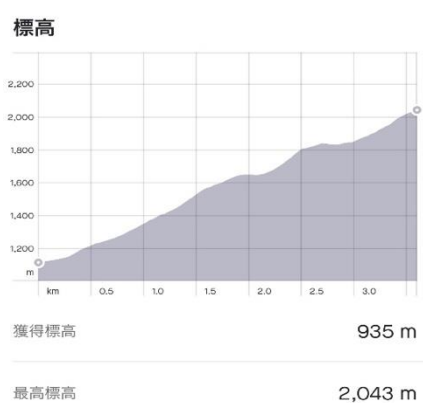
1 セクション目は、ロープウェイ 2 本目の支柱まで。ここまでで 1.5 kmで D+500m Up。スタートから 200mほどの林道後シングルトラックに入り、ひたすら駆け上がります。走れる登りで 1 km D+230mUp、1 km以降はトップ選手以外ハイクで急登を駆け上がっていました。サーフェイスは小石が多くズルっと滑りやすくなっています。2 本目の支柱を越えると VK 唯一のエイドポイントとなります。

2 セクション目は、エイドポイント過ぎからロープウェイ 3 本目支柱まで。はじめ 500 mは緩やかな登りと下りです。それを過ぎるとギザギザした正規ルート回避して、直登します。小石はなくなりますが、草の階段が 200mほど続きます。こちらも急登です。

3 セクション目は、2 セクション終了からゴールまで。3 本目の支柱を過ぎると 150mほど緩やかに下って最後の D+200mUp です。斜度は 3 つの中で一番緩やかな斜度ではありますが、ここまで振り絞ってきていたり、スパートをかけたりするので、一番苦しいセクションです。ここも登山道ではなく直登に上っていきます。最後は各国の人が応援で全員の背中を後押ししてくれます。

スプリット

KM	ペース	GAP	標高
1	9:31	3:46	231
2	13:53	4:31	304
3	11:25	4:58	197
0.6	13:53	4:28	196



SKY (強風によりコース変更のため正規ルートではありません。)

悪天候のため、当日、17.0 km + D1500m に変更になりました。youthA (15~17 歳) のコースに 2 回目の登り後、稜線ではなく裏側へ降りた迂回コースへ。

はじめは VK コースを上り、VK ゴール地点を過ぎてからも 1.5 km D+200mUp 登ります。そのため、約 5.5 km で D+1200m を駆け上ります。

登り切ったら 8 km までひたすら下ります。ところどころ浮石や、穴が開いていたりしますが、めっちゃめっちゃ走れる下りです。ここで走れないと 1 分くらい差は簡単に付きます。

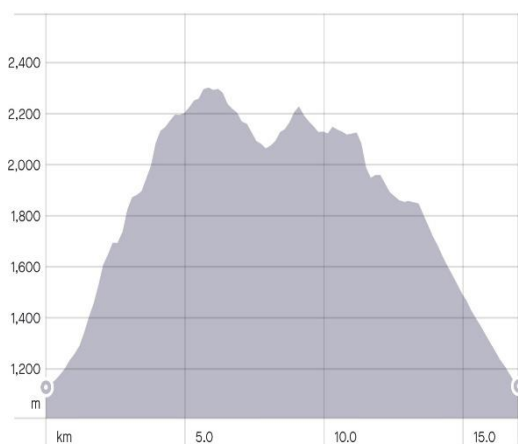
下りきると 1 kmD+180m登ります。走れる斜度ではあるのですが小石が多く、走りづらい足場になっています。youthA のコースはこれが最後の登りです。ここまで 9 km。

登りきると、山の反対側へ行き、もう 1 度 VK ゴール地点へ向かいます。2 km弱、シングルトラックの走れるコースになります。走れないとあっという間に差が付きます。VK ゴール地点からゴールまで 5 kmで-1000m。VK コースを逆走はせず、右側の方へトラバースし、下っていきます。下りはギザギザと下るので、スピードに乗れず、順位をあげることは難しいと思います。うまくコースを取らないとタイムにも響いてきます。木々が出てくるともう少しでゴール。ラスト 150mはロードに出てゴールです。

スプリット

KM	ペース	GAP	標高
1	6:02	3:34	128
2	14:30	4:25	323
3	14:07	4:58	281
4	12:15	4:42	261
5	6:53	4:23	81
6	7:39	4:32	89
7	3:44	3:27	-115
8	3:48	3:42	-113
9	10:13	5:12	163
10	3:59	3:38	-101
11	4:07	3:36	-4
12	5:19	4:05	-161
13	3:54	3:48	-104
14	4:33	3:59	-156
15	4:05	3:28	-214
16	3:42	3:27	-188
0.9	3:29	3:22	-166

標高



獲得標高 1,521 m

最高標高 2,313 m

【ホテル】 Hotel Fiordigligli

5 泊しました。日本は男子 1 部屋 (4 人) 女子 1 部屋 (2 人) です。部屋は冷蔵庫がなかった以外は快適に生活ができました。また洗剤やシャンプー・ボディーソープ等はないので、日本から持っていくことをお勧めします。



洗濯は、手洗いです。乾燥がすごいので日中であれば 2 時間くらいである程度のは乾いてしまいます。

食事は、3食ホテルから出ます。朝はビュッフェスタイル、昼夜は、パックに入れられたパスタと副菜があります。日本に比べて野菜がほとんど出ないので、慣れるまではお腹の調子が悪くなると思います。水は硬水なので、日本で1週間くらい試して合わない人は日本から体に合う水を持って行くことをお勧めします。



(朝)



(お昼)

【まとめ】

今回、YSWCに参加し、日本とは違う生活感、また同世代のトップ選手との力の差を感じました。競技力的に見て、登りの差がトータルタイムの差に繋がっています。下りは手ごたえを感じることができました。コースの特徴などは長野にも似た(小石が多く、斜度25%↑)サーフェイスがあると感じます。(白馬八方尾根VK、八ヶ岳、北アルプス稜線)世界で戦うことを目標としていくのならばこのあたりの山で練習していくことをお勧めします。気候に関して、湿気が多い日本とは異なり、乾燥しているので、細めな水分補給が大切となります。

【未来のスターたちへ】

迷っているのならば参加しなさい。きっとこれから長い人生の分岐点になります。それくらい、若い時に世界にチャレンジすることは大きな意味があります。私たちは年齢や仕事の関係で今年の大会が最初で最後でした。来年も出たいなあと心の底から強く思った大会です。日本には感じられない、世界大会の雰囲気、レベルを肌で感じてきてほしいと思います。

(勧誘笑) 私たちが所属する MountainAddicts は5名の日本代表選手が所属しております。世界で戦う選手を輩出育成しています。少しでも調味がありましたら、ご連絡ください。毎週練習しています!!!